

2022年

12・1月

No. 345



蜷川自治振興会

世帯数 6,330

市立蜷川公民館

人口 13,622

男 6,694

女 6,928

TEL 421-2971

(R4.10月末現在)

今後の予定

12月	7日(水)	13:30~15:00	ふるさと講座「初心者向けスマートフォン教室」 (ふるさとづくり推進協議会)	場所：市立蜷川公民館 対象：蜷川校下住民
	18日(日)	10:00~12:00	第5回蜷川の福祉・健康の地域づくりセミナー (蜷川校下社会福祉協議会)	場所：市立蜷川公民館 対象：蜷川校下住民
	21日(水)	10:00~12:00	ふるさと講座「しめ縄飾り教室」 (ふるさとづくり推進協議会)	場所：市立蜷川公民館 対象：蜷川校下住民
1月	7日(土)	10:30~11:30	蜷川地区はたちの集い (蜷川自治振興会)	場所：富山国際会議場 対象：H14.4.2~H15.4.1 生まれの方
	下旬		「そば打ち教室」 (ふるさとづくり推進協議会)	場所：未定 対象：蜷川校下住民

※詳細につきましては、回覧等でご確認ください。新型コロナウイルスの感染状況等により中止または延期になる場合があります。

祝 蜷川地区はたちの集い

日時：令和5年1月7日(土) 10時30分~11時30分

会場：富山国際会議場 3階メインホール

対象：平成14年4月2日~平成15年4月1日生まれの方

内容：式典、記念撮影

その他：当日は、事前に送付します「受付票」に署名の上
ご持参ください

11月1日現在で富山市に住民登録していない方(市外・県外在住者)へは、案内状が届きません。
出席を希望される方は、蜷川地区センター(TEL: 421-2971)まで事前にご連絡ください。
案内状が届きましたら、出欠のハガキをお早めにお出しく下さい。
マスク着用、手指消毒など感染対策のご協力をお願いします。

年末年始の地区センター業務等の休業について

蜷川地区センター・市立蜷川公民館

令和4年12月29日(木)~令和5年1月3日(火)

市立図書館蜷川分館

令和4年12月29日(木)~令和5年1月4日(水)

蜷川自治振興会公式ホームページ

<http://ninagawa-jichi.com/>

蜷川自治振興会

検索



蜷川自治振興会HP
こちらから

民生委員児童委員・主任児童委員改選

11月30日(水) 蜷川地区センターにて委嘱辞令交付式を行いました。
新しい蜷川地区民生委員児童委員・主任児童委員の皆さんをご紹介します。
(令和4年12月から)

氏名	町内	担当地域
中磯寿満子	小杉	小杉(1班~6班)
小泉俊之	小杉	小杉(7班~13班)
鎌田淑子	小杉	小杉(14班~19班)
覚田幸弘	布市	布市
澤口悦子	布市新町	布市新町
坂井有理	赤田元町	赤田元町
稲見清久	赤田西町	赤田西町
宮越義夫	赤田南町	赤田南町
野澤周治	赤田中町	赤田中町、赤田東町(1班~4班)
松浦孝之	赤田新町	赤田新町、赤田東町(5班~7班)
浜田秀子	小杉(朝菜町1丁目)	朝菜町1丁目
朴木正純	堀川町(朝菜町3丁目)	朝菜町2丁目、朝菜町3丁目
辻慶	下堀(新堀町)	朝菜町4丁目、新堀町
美濃千恵子	堀川町(朝菜町6丁目)	朝菜町5丁目、朝菜町6丁目
山岸千秋	上袋	上袋(1班~2班)
文山まつ子	上袋	上袋(3班~6班)
細野忠	黒崎	黒崎
澤野恵津子	八日町	蜷川、八日町
坂下恵子	二俣新町	二俣、二俣新町
中井啓之	小杉	主任児童委員
榊明子	赤田南町	主任児童委員

明るく豊かな地域づくりに取り組む地区の 各種団体が行っている活動を紹介します。

蜷川校下社会福祉協議会

社会福祉協議会は地域住民の幸せを願い、「地域福祉」の増進に寄与することを目的に各種の社会福祉事業に取り組んでいます。現下のコロナ禍にあっても、要支援者の元へ日々安否確認にまわる福祉推進員や民生児童委員、町内会役員等の福祉関係者がおられます。その方たちを支え、**①**ない手を意識し育てる校下、**②**よかま意識を高め合える校下、**③**かんぱっていると合い合える校下、**④**が事(蜷川事)としてとらえる校下、を目標に活動を展開中です。ただ、現状は、各福祉関係団体が活動の縮小・中止に追い込まれ、地域での活動・住民同士の交流機会が激減、福祉の活動も沈滞化傾向にあります。

〈重点的な取組み〉

① 「地域福祉」への理解促進活動の展開

地域を知ることから始めようと「蜷川の福祉・健康づくりセミナー」を開催しています。

② ボランティア活動の活性化

いきいきクラブやふれあい子ども食堂をはじめとする地域のボランティア活動を支援、「地域共生社会づくり」に取り組んでいます。

③ サロン活動の支援

校下の各町内で開催されているふれあいサロン活動を支援しています。

④ 広報活動

「蜷川福祉だより」や特別版を発行しています。

⑤ ケアネット活動(隣近所助け合い活動)

要支援者を年間通じて地域ボランティアで見守っています。

⑥ 研修活動

町内会長も参加する「地域ケアネット推進会議」をはじめ各種研修により福祉情報の収集・交換等に努めています。



「蜷川の福祉・健康の地域づくり
セミナー」第2回

蜷川地区環境保健衛生連合会

蜷川地区環境保健衛生連合会の年間活動について報告します。

まず連合会の構成ですが、会長1名、副会長3名、会計1名、監事2名と各町内選出の理事22名、理事(保健推進員)6名、理事(県連環境巡視員)2名の総勢37名となります。主な活動目的は環境美化への取組を年約6回、保健推進員による活動を年6回実施しています。

コロナ前のような活動はまだまだできていませんが、昨年12月には「第23号環境保健衛生だより」を発行いたしました。本年に入り令和4年度は、事業計画に沿って4月は「防疫用薬剤の配布」を行い、6月には「ごみステーション巡視活動」として赤田4町内と赤田新町の5ヶ所を巡回し、管理担当の方の意見や問題点をヒアリングしながら参加者一同が情報共有から現状認識をいたしました。

7月には「高速道路側道側溝の美化活動」を校下の全町内の参加協力と高速道路会社の支援参加を得て、黒崎地内から小杉地内までの高速周辺のゴミ拾いを中心に美化活動を実施しました。

8月の活動としては「ポイ捨て禁止」「ペットマナー」の看板の作成を環境役員にて行い、申し込みのあった町内に配布しました。また、校下内の「環境美化巡視活動」として前述の設置看板の劣化物の取替や修繕のメンテナンスを役員で実施しました。

ここ2年間はコロナ禍で途絶えていますが、毎年10月には環境施設見学会を催し、生活環境の保全等を学ぶ機会も設けています。

一方で自治振興会の行事にも加わり活動しています。6月の「太田川河川敷美化清掃」、8月の「蜷川ふるさと富山美化大作戦・ピカチュウ大作戦」は環境にとっても大事な美化活動と位置付けています。

以上、主な活動をご紹介しましたが、環境美化への取組はすべて繰り返しの実践であることから、今後も皆様方のご理解と協力をお願い致します。

(蜷川地区環境保健衛生連合会 会長 高月 輝夫)



蜷川校下防犯組合連合会

私達、防犯組合連合会では安全な街づくり「防犯犯罪抑止」の為、各町内会防犯理事の方々と月・金曜日の夜間、青色回転灯パトロール車にて校下巡回活動、毎週水曜日の昼間、毎月20日「防犯抑止の日」巡回パトロール実施をしております。

- 夏季・年末パトロールを各町内会防犯理事の方々へ依頼、実施
- 「だまされんちゃカップ」パークゴルフ大会 参加者全員に(特殊詐欺被害防止)教室実施
- 「かぎかけんまいけ」キャンペーン アピタ富山店にて 各町内会防犯理事、防犯連絡員にてパンフレットの配布実施
- 富山南自主防犯パトロール隊協議会、研修会
- 「防犯パトロール実施中」立て看板配布
- 文化祭 カギかけ・特殊詐欺被害防止チラシ配布

令和3年度受彰者(令和4年4月1日交付)

- ・防犯功労者表彰(富山南防犯協会会長及び富山南警察署長連名) 赤田東町 谷口 誼 殿
- ・優良防犯団体表彰 赤田西町町内会 殿
- ・警察庁長官・全国防犯協会連合会長連名表彰
- 中部防犯協会連絡協議会賞 蜷川校下防犯組合連合会 会長 防犯功労者 割山 勇孝 殿

【代表者からのメッセージ】

「いつでもどこでも、地域の安全安心に目を光らせる」をモットーに、地道な活動を続けてまいります。警察庁長官・全国防犯協議会連合会長連名表彰 中部防犯協会連絡協議会賞を受彰いたしました。ひとえに日頃から住民の皆様のご協力のおかげと深く感謝と御礼を申し上げる次第です。今後とも、安全で安心の街づくりに努めてまいります。



鍵かけキャンペーン



だまされんちゃカップ

(蜷川校下防犯組合連合会 会長 割山 勇孝)

富山南交通安全協会蛭川地域支部

当支部の活動に、日頃より地域の皆様に深いご理解とご協力等賜り大変感謝申し上げます。
主な活動は年間4回の交通安全運動が開催されており、その期間中の広報車での巡回広報活動が中心です。

また、蛭川地域のカーブミラーの維持・管理等を行っております。

4月 蛭川小学校入学式 新入学児童全員にランドセルカバー・黄色帽子を渡しています。

蛭川小学校1年生交通安全教室

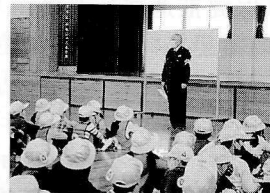
蛭川小学校4年生自転車教室・正しい止まり方の指導

交通安全祈願祭 毎年赤田地主社で地域の交通安全祈願

7月 交通安全教室 蛭川長寿連合会高齢者部会様の協力で年2か所で「交通安全教室」を開催しています。

9月 高齢者パークゴルフ大会 大会開催し競技後「交通安全教室」を開催しています。

12月 富山南警察署玄関ロビーににながわ保育園年長さんの協力でクリスマスツリーを飾らせていただきました。



蛭川地域支部役員一同、地域の交通安全を願い1件でも事故が減少するよう活動を推し進めていきます。

今後とも地域の皆様のご協力、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

(富山南交通安全協会蛭川地域支部 支部長 松井 聡)

蛭川体育協会 (通称：蛭川スポーツコミュニティー)

昨年、蛭川体育協会は、創立65周年を迎え、記念誌発行、ホームページも開設しました。これもひとえに関係各位のご尽力とご協力の賜物と感謝を致しております。コロナ禍の中、今年の第1四半期に3つの行事を実施する事ができました。久々の行事開催に、皆さんの笑顔が溢れていました。これからも、こんな地域のコミュニケーションを繋いでいきたいと考えます。蛭川校下の皆さん！行事に参加して大いに楽しみましょう。



令和4年5月29日(日) ソフトボール大会



令和4年6月12日(日) ウォーキング大会



令和4年6月25日(土) 住民ゴルフ大会

(蛭川体育協会 会長 松木 秀幸)

蜷川校下児童クラブ指導者協議会

蜷川児童クラブは蜷川校下の児童のため、蜷川校下の各町内より役員の方を選出していただき活動しております。

近年、せせらぎ交流教室・三世代ふれあい交流事業として、蜷川小学校体育館で工作教室を開催しております。にながわふれあい子ども食堂ほか各種団体様と協力し、子供たちに喜んでもらえるよう毎年趣向をかえて開催しております。また昨年度より、昔のお祭りにあった「千本引き」を開催しております。なかなかお目にかかれない装置を前に、子供たちは狙った景品が取れるよう狙いを定めていました。大きな景品を抱えて嬉しそうに帰る姿はほほえましいものがありました。

近年コロナウイルスの影響により開催されていませんが、以前はビーチバレー大会とドッジボール大会を企画しておりました。

また、今年度は蜷川校下を含む南部地区校下でドッジボール大会が開催される予定でありましたが、コロナウイルス感染拡大の影響で中止となってしまいました。

今後も継続して蜷川校下の子供たちに喜んでもらえるイベントを企画していけるよう企画・運営してまいります。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

(蜷川校下児童クラブ指導者協議会 会長 友澤 健太郎)

蜷川校下民生委員児童委員協議会

民生児童委員は法律に基づき活動、今年の12月から新しい任期に入ります。ボランティアなので無報酬です。

民生委員は、住民みんなが笑顔で安全に安心して生活できる地域をつくるのが役割ですから、みんなから困りごとや心配ごとを聞いて、助けてくれる人や場所を紹介する「つなぎ役」として働いています。もちろん、守秘義務もあります。

現在、コロナ禍にあっても、日々の基本的な活動に大きな変化はありませんが、一方、地域社会の各種関係団体による公式行事の事業縮小・中止等に伴い、参加・列席する機会が激減、地域での交流機会が閉ざされ、地域の福祉情報が入らなくなるという大きな課題に直面し活動が沈滞化している傾向がみられます。

1. 身近な町内地域での福祉活動

① 訪問活動

担当町内地域を巡回訪問しています。支援が必要な方の家では定期的に安否確認をしています。

② 町内行事やサロン活動

積極的に参画しています。

2. 地域福祉全般にかかわる活動

① 子どもたちへの福祉活動

子ども食堂や三世代交流事業、下校見守り等を通じ支援しています。

② 福祉研修活動

市や市社協主催の各種関連研修会、月1回の定例会で福祉情報の交換等に努めています。

③ 支援活動

地域住民の一人として、調理・防犯・防災・食材配布などのボランティアに積極的に取り組んでいます。



生徒の下校見守りに取り組む
民生児童委員

(蜷川校下民生委員児童委員協議会 会長 細野 忠)

蝮川地区ふるさとづくり推進協議会

ふるさとづくり推進協議会は、各町内会並びに各種団体と連携し、豊かで魅力あるふるさとづくりに取り組んでいます。事業の柱として、住民のふれあい、生活に結び付く活動や伝統継承、教養趣味をテーマに、年6回開催する「ふれあい事業」と、住民の学習意欲向上や生きがいの充実及び地域の教育力向上を目的に年会「ふるさと講座」を開講しております。

令和3年度はコロナ感染拡大防止を鑑み、ふれあい事業については、自然と歴史探訪や蝮川ふれあい文化祭などの主要事業を中止しました。ふるさと講座については、みそ作り、家庭教育学級(2回)、健康教室、かぶら寿し教室、スマートフォン教室、ちぎり絵教室、家事講座、男性料理教室、フラワーアレンジメント教室を955名の参加を得て計画していた全ての講座を開講することができました。

令和4年度諸事業につきましては、状況を鑑みながらではありますが、当初計画していた事業を実施しております。中でも蝮川ふれあい文化祭(11月13日)は3年ぶりに201名の参加を得て開催することができました。皆様の格別のご理解ご協力の程お願い申し上げますと共に本会の企画する事業・講座にお気軽にご参加いただければ幸いです。

(蝮川地区ふるさとづくり推進協議会 委員長 松尾 樹)



自然と歴史探訪(黒部峡谷)



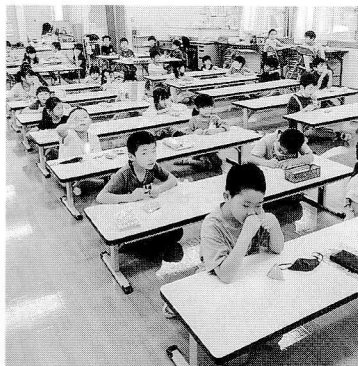
さつまいもづくり(苗植え)

蝮川校下留守家庭児童会運営協議会

蝮川校下留守家庭児童会運営協議会(蝮川しろがね子ども会)は、放課後児童健全育成事業として保護者が仕事などで昼間家庭にいない留守家庭の蝮川小学校児童(1、2、3年)を対象に、子供達に健全な遊びや生活の場を提供し、保護者が迎えに来るまでの間、支援・見守り・援助する目的で開設しています。

富山市からの委託により、学校関係者や地域の各種団体の有識者10名で構成され、通常は地域のボランティア指導員4名が携わっています。拠点は、蝮川児童館北側の子供会施設です。昨今の新型コロナウイルス感染症の予防対策として、利用者には3密(密閉・密集・密接)の回避、手洗いやマスク着用などの徹底を図り、施設内の定期的な換気、備品や遊具等の消毒を随時行いながら運営しています。

利用児童たちはコロナ禍での制限された中で宿題をしたり、おやつを食べたり各々好きな遊びをしながらお迎えを待っています。



おやつは静かに黙食です

誕生会、クリスマス会、お別れ会など季節の行事も縮小しながら楽しんでいきます。



みんな元気に“ただいま～”

(蝮川校下留守家庭児童会運営協議会 会長 中村 隆)

蜷川長寿会連合会

「蜷川長寿会連合会」は昭和34年8月に「蜷川校下永寿会」として創立、平成3年4月に現在の名称に改称されました。

会員数も当初は100人でしたが、現在は13クラブ1000人前後で推移をしています。

事業内容も昭和時期は「仲良し会」のようなもので旅行をはじめ、神社仏閣参拝やゲートボールも行われていましたが、平成に入ると、いろんなサークル活動が活発になり、参加者が分散する傾向がみられました。

現在、会の事業活動は健康・友愛・奉仕の三大運動を基本に実施していますが、時節柄屋外活動に人気があるようです。

写真は、令和4年6月に実施した「春の歩こう会、岩瀬散策」での集合写真です。参加者多数の為2回に分けて実施しました。



(蜷川長寿会連合会 会長 村尾 剛)

富山市蜷川赤十字奉仕団

私達、蜷川赤十字奉仕団は、今年の11月で設立が50周年を迎えました。来年の春には記念誌が完成する予定です。

こんな私達の活動として、今年2月に、蜷川小学校4年生を対象に牛乳パックを利用して「非常食」作りをしました。中に詰める物は自由で特に決まっていますが、保存のできる缶詰め、レトルトのおかゆ、ふりかけ、飴玉、クッキー等普段食べている物。そして、マスク、割りばし、キズ絆等すべて個包装のものを入れます。入れ方にもひと工夫！入れる物の賞味期限もチェック！すべて紙に書きだして牛乳パックに貼っておきます。期限が来たら開いて食べる。そして新しい非常食を1本作る、この繰り返しです。

また6月には、団員さんを対象にした、炊き出し講習会を行いました。今回は、いつもの白いご飯ではなく、白米の8割をもち米に変えての「おはぎ」作りに挑戦しました。炊きあがったハイゼックス包装のご飯を、手でよく揉み、丸めて半分にし、きな粉とごまをまぶして出来上がりです。大変好評でした。

他に、毎年6月と12月に「在宅ひとり暮らし高齢者訪問」を行っています。

また、この様な活動を一緒にしていただける団員さんを募集しています。



(富山市蜷川赤十字奉仕団 副委員長 辻 陽子)

蜷川校下いきいきクラブボランティア

蜷川いきいきクラブは、65歳以上でひとり暮らしの方、友達が欲しいと感じておられる方を市立蜷川公民館に招き、美味しい食事を提供している会です。

この事業は、社会福祉法人富山市社会福祉協議会が地域の給食ボランティアの協力を得て実施しているものです。

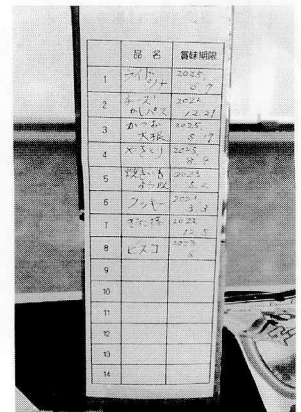
他の町内の人と顔馴染みになり、楽しい雰囲気のとやかな場所です。給食ボランティアの皆さんは、朝早くから主食・副菜・主菜・デザートとバランスの良い食事を懸命に作っています。

館内は朝から美味しい匂いが漂っています。その間にホールでは、いきいき活動としてペタンク・工作・出前講座を聞き学んだりしています。

この日は、蜷川赤十字奉仕団の皆さんの協力により、牛乳パックを使ったひとり用非常食セットを作りました。

人との出会い、学びに終わりはありません。参加してみたいと思われた方は、町内の民生委員、または代表の東（あずま）までご連絡ください。

代表 東 百合子
TEL 428-2215
毎月 第2金曜日、第4金曜日
朝9:30～13:00頃まで
会費 無料



(蜷川校下いきいきクラブボランティア 代表 東 百合子)

蜷川校下保健推進員

保健推進員は、地域における母子健康の向上や成人の疾病予防及び健康の維持増進を円滑に推進することを目的として地域保全事業を進めるには地域に密着した活動が必要であることから、富山市から委嘱されている委員です。

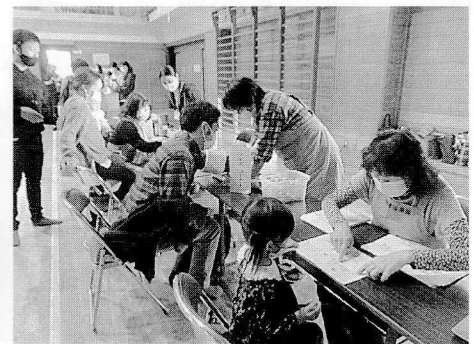
去年は、コロナ感染拡大により、なかなか「赤ちゃん教室」は開催することができなかったのですが、11月に1回だけ開催しました。

また、10月の三世代ふれあい交流事業&ふれあいにながわ子ども食堂にあわせて、蜷川小学校体育館で「健康展」を開催し、健康チェックやクイズコーナー、がん検診受診の呼びかけを行いました。

今年は、7月からの「赤ちゃん教室」開催を検討しておりましたが、コロナ感染拡大により断念せざるを得ませんでした。

赤ちゃんがいる家庭の訪問についても、新型コロナウイルス感染今後も、できる限りで訪問していく予定です。

少しでも地域の力になればと思っております。



(蜷川校下保健推進員 代表 安田 美好)

蜷川校下食生活改善推進協議会

私たち食生活改善推進員は「私達の健康は私達の手で」をスローガンに食を通した地域の健康づくりボランティアとして、現在11人で活動しています。

例年、年4回調理実習を中心に「三世代ふれあいクッキング」、「バランス食」、「ガン予防食」、「フレイル予防食」をテーマに進めてきました。しかし、近年はコロナ禍の為に予定していた事業も中止せざるを得ませんでした。

そこで今年は9月26日に地区センターで「三世代ふれあいクッキング」、「がん予防食」について講義のみの研修を行いました。14名の方に参加していただき、市食改発行のパンフレット・レシピや保健福祉センターから借りてきた栄養指導パネルに従って「食品や外食等に含まれている塩分の量」「食物繊維の大切さ」「主ながんの危険因子」について講義しました。

又、献立の作り方についても説明しました。参加していただいた皆さんからは、「食物繊維の摂取と減塩は大切だと思った」、「食品に対して考える良い機会になった」、「一日三食バランスを考えて献立を立て家族全員元気でいたい」等の感想がありました。

最後には、脳トレを組み入れた体操も行い大いに盛り上がりました。

食べることは「生きること」の基本です。

食べ方により健康にも不健康にもなります。

住民の健康寿命を延ばす為、食育の推進・啓発活動に努めていきたいと考えています。



栄養指導パネル



脳トレ体操

(蜷川校下食生活改善推進協議会 理事 服部 京子)

蜷川校区少年補導委員会

蜷川校区少年補導委員会は、富山市から委任された男女それぞれ5名の補導員で構成されています。主な活動は春・夏・冬の学校の休みに合わせて校区内の公園、神社やショッピングセンターの見回りと、山王祭りや富山まつり等市内のイベントに合わせた市街地や駅周辺の巡回活動です。

校区の見回りは3～4人で車に乗っての巡回と徒歩でのショッピングセンター内のパトロールを行っており、不審者がいないか、遅くまで出歩いている子がいれば声をかけるといった事が主な活動内容です。3回の長期休みにそれぞれ5回で年間15回のパトロール活動を行っています。車での巡回時には『少年パトロール』と書いたステッカーを張り付け公園付近はゆっくりと走行していますので、住民の皆さんには多少御迷惑をおかけしている事もあるかもしれませんが、子供たちの健全育成の一環としてご理解とご協力をお願いします。

ここ数年はコロナの影響もあり山王祭りの巡回は中止となっています。富山まつりに関しては9月24日に3年ぶりに巡回に行ってきた。久しぶりの大きなイベントという事もあって多くの人でにぎわっており、コロナ以降失われていた活気が戻って来たことを嬉しく明るい気持ちで回ってきました。夜の時間帯のパトロールでしたが子供だけのグループも多く「遅くならないようにね!」と声をかけて回りました。

補導と言うと、非行を取り締まるといった厳しいイメージが有りますが、実際の活動は声掛けと緑のベストと言った目立つ服装で巡回する事により存在感をアピールし、非行や少年犯罪を未然防止する抑止力が活動の目的と認識しています。ささやかな活動ですが、子供たちの健全育成を願いメンバー全員で今後取り組んでいきます。

(蜷川校区少年補導委員会 委員長 中村 隆司)

蜷川校下青少年健全育成連絡協議会

青少年健全育成連絡協議会は、名称を聞くと難しく感じるのですが、本来は「日本の将来を担う子供、若者が健やかに成長し、将来の結婚や家庭に夢を持ち、円滑な社会生活と幸せな家庭生活を営むことができるよう環境を整備し、支援すること」を目的に昭和40年にスタートした国民運動が始まりです。現在はこの国民・県民運動を推進するため、県内全市町村に「青少年育成市町村民会議」が組織化され、県内全市町村に「青少年育成県民運動指導員」が配置されています。現在この推進指導員は原則として小学校区ごとに1名配置され、昭和4年4月では富山県で241名、富山市では74名の配置状況となっています。

さて、具体的にどのような活動を行ったか、蜷川の参加・開催した行事を昨年秋から今年夏までのものを列記します。

令和3年11月16日 JR富山駅構内で、子供若者育成支援啓発活動のチラシ、ティッシュ配布

11月28日 富山県総合福祉会館において「とやま子供・若者フォーラム」

12月18日 蜷川地区センターにて「せせらぎ教室」ガラス万華鏡作り

令和4年3月26日 国立青少年自然の家

しろがねスキーと山の会との共催で「かんじき教室」

6月26日 社会福祉センターで青少年育成富山市民会議の定期総会

7月3日 蜷川地区センターにて「せせらぎ教室」

ペットボトルを使ったプラネタリウム作り

7月5日 サンシップとやまで、青少年育成運動推進指導員研修会



活動は、ここ2年コロナ禍で親子料理教室など中止となっている行事も多く、再び以前のような活動できる事を待っています。

(蜷川校下青少年健全育成連絡協議会 会長 小又 三明)

蜷川小学校体育施設開放事業運営委員会 (通称：学校開放委員会)

この会は、蜷川小学校の体育施設を住民の用に供することにより、安全な遊び場の確保、健全な団体活動の促進及びスポーツ振興を図り、かつ住民の健康増進に寄与することを目的に、富山市長の委嘱を受けて活動している団体です。

昭和55年7月、富山市で25番目にグラウンドの照明が設置されたことにより、体育館を含め開放事業を開始しました。又、同時に蜷川学校開放だよりを発行し、平成15年3月まで情報提供のため校下の全戸数に毎月配布しております。現在では、蜷川自治振興会発行による、蜷川だよりの最終頁に蜷川学校開放だよりを掲載し、情報の提供を行っております。

○活動内容

(1) 毎月17日に小学校体育館において、次月利用日程を決定するために、管理指導員(9名)、各クラブ代表者、利用団体代表者による調整会議を開催している。

(2) 管理指導員(9名)で、(月曜日から金曜日 19:00~21:00)照明、施設、施設の状況確認及び利用人数の調査を行い、毎月富山市に報告している。

(学校開放委員会 委員長 和仁 正勝)

蜷川校下公民館連絡協議会

蜷川校下公民館連絡協議会は、校下各町内の自治公民館16館で構成されています。

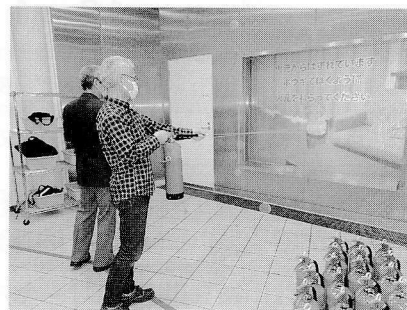
その主な目的は以下の通りです。

1. 各公民館活動が発展するように、相互の連絡を密にしておくこと
2. 公民館長が公民館活動を発展させるための研修会の開催
3. 富山市民館連絡協議会およびブロック協議会との連絡調整

従来はどうしても、公民館という施設を管理するのが主な仕事になっていましたが、本来の公民館の役割である地域のコミュニティの中心と生涯学習の場を、主体となって企画・運営していくために動き、町内会と両輪で地域の発展に寄与できればと考えております。

コロナ禍で各町内会の行事が中止となり、再開もままならず、伝承も危ぶまれるなか、この中でできる事、できる範囲で活動を再開しているかが、今後の公民館活動を左右していくと思います。皆で知恵を出し合いながら前に進んでいきましょう。

本年の活動は、「災害をどう防ぐか、この自分たちの地区を」のテーマで、4月は市役所の出前講座を聞いたり、10月は「四季防災館」で公民館長を中心に10名の参加を頂き、地震・暴風・火災時の煙体験・消火器使用訓練等を行い、災害の恐ろしさを体感しました。



消火器使用訓練



(蜷川校下公民館連絡協議会 会長 清水 秀峰)

蜷川小学校育友会

育友会は蜷川小学校PTA組織の名称です。

我々は子供たちの健やかな成長のために、家庭・学校・地域社会がお互いに協力し合って様々な活動を行う集まりです。

育友会には執行部、総務部、学年部、安全サポート部、バザー部、広報部、地区部そしておやじ倶楽部の8つの部が存在し、各部が意見を出し合いながら子供たちが学校生活を楽しく送れるよう活動しております。

4月に行われた1年生の交通安全教室では、安全サポート部が子どもたちの見守りをお手伝いしました。5月に行われた運動会では、おやじ倶楽部や保護者有志で、校舎周辺のパトロールや片付けの手伝いをしま



した。コロナ禍ではありますが、少しずつ育友会の活動も再開しています。

来年度は蜷川小学校創立150周年となる記念の年を迎えます。皆様とともに蜷川校下を盛り上げていけたらと思っております。

今後とも地域の皆様の暖かい目で蜷川小学校の子供たちを見守っていただければ幸いです。

(蜷川小学校育友会 会長 友澤 健太郎)

令和4年度学校開放だより

12・1月度 蛭川小学校体育施設開放週割表

第403

R4.12.1

曜日	管理者	体育館（夜間）	グラウンド（夜間）	体育館（放課後）	グラウンド（放課後）
月	和仁	スポーツ交流会	冬季閉鎖	少年サッカー	冬季閉鎖
火	横尾	バレーボール	//	少女バレーボール	//
水	田村	バスケット・インディアカ	//	少年野球	//
木	—	—	//	少年野球	//
金	和仁	フットサル	//	少女バレーボール	//
土	松浦	よさこい	//	少年サッカー・少女バレーボール	
日	—	—	//	少年野球・堀中女子バレーボール	

※お知らせ

- ・12月の学校開放委員会は、12月15日(木)19:00～ 地区センターで行います。
- ・12月26日(月)～1月4日(水) 蛭川小学校体育館を休館とします。
- ・グラウンドは12月1日～3月31日まで冬季閉鎖といたします。

※体育館・グラウンドの使用申込みは、使用前月の学校開放委員会（12月15日）が開催される蛭川地区センターに必ず代表者が出席し、確認のうえ申し込み下さい。

委員長 和仁正勝 (090-4683-4042) 管理指導員 岡本義晴 (492-2339)
 管理指導員 河西 潔 (429-6484) 管理指導員 竹内 崇 (422-0249)

町内会・各種団体紹介コーナー

●蛭川地区の各町内会・各種団体の活動等について紹介します●

今回は、「朝菜町5丁目」の紹介です。

朝菜町5丁目は88軒中、空家5軒、売家1軒、会社1軒あり実質82軒の町内です。

蛭川校区の中でもワースト3に入る程の高齢化住宅地域でもあります。

一人世帯も多く、各班長さん、隣、近所、永寿会の協力を得て、日々声かけを促しています。

コロナ中、行事が計画どおり実施できずにいますが、「密」を避けながら長寿会では、朝菜町・堀川公園で歩こう会を開催したり、美術館への鑑賞・食事会を行い交流をはかっております。

今後、町内の交流の場を設け、声掛け推進を目指していきます。

(朝菜町5丁目 町内会長 荒川 周三)

